

# 児童のマスクについての調査結果(抜粋)

令和4年7月1日(金)

鴻巣市立吹上小学校

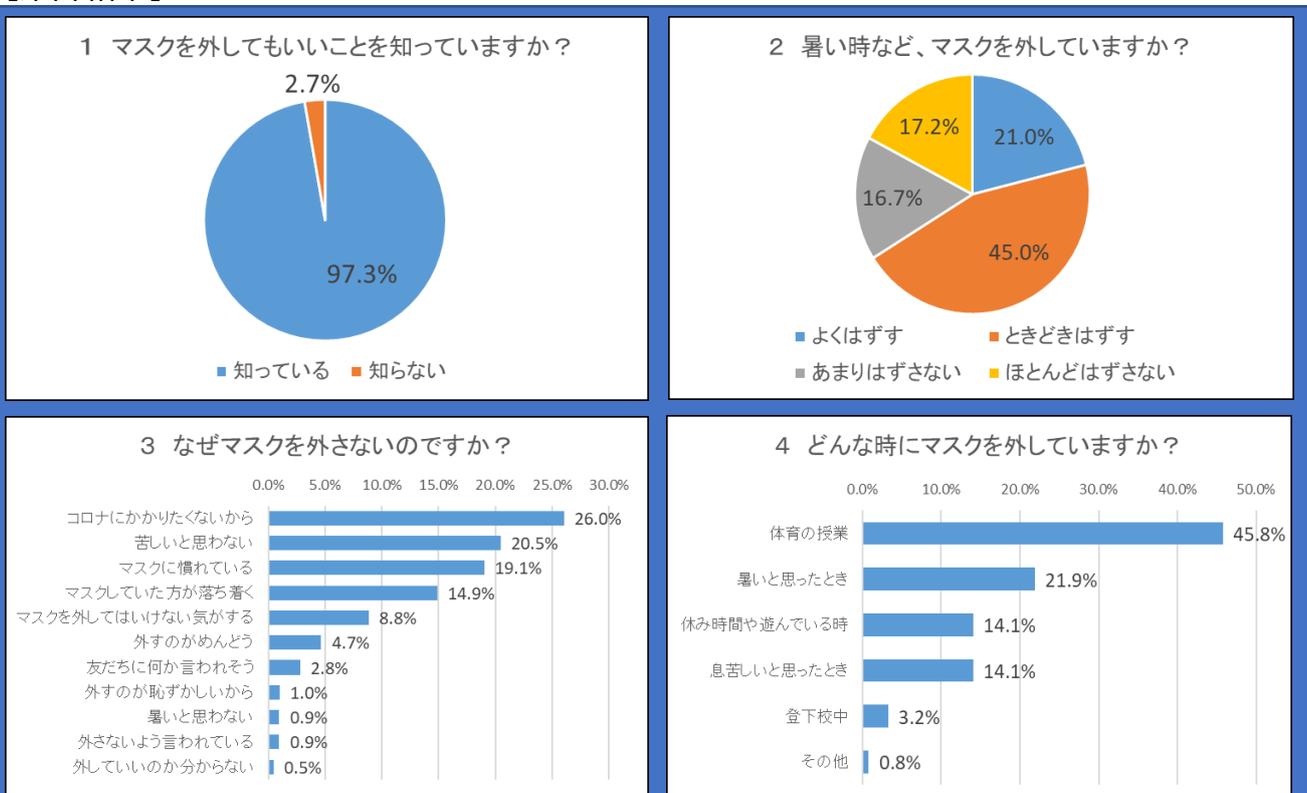
## 【調査のねらい】

子供たちは、暑い中でもなかなかマスクを外そうとしないので、その理由を調べ、今後の熱中症予防の指導に生かす。

## 【調査対象】

・2～6年生（回答445名）

## 【集計結果】



・3分の2の児童は、「マスクを適時外している」と自覚している。

⇒3分の1もの児童は、マスクを外すことができていない。

・マスクを外さない理由の上位は「**コロナにかかりたくない(26%)**」「**マスクが苦しくない20.5%**」「**マスクに慣れている 19.1%**」「**マスクをしていた方が落ち着く14.9%**」であった。(質問3,4は複数回答可)

・マスクを外しても「人との距離」「話さない」などを注意すれば、コロナにかかるリスクは低いことを伝えるとともに、全体へのマスクを外した時の行動の仕方の指導も十分に行う。

・「マスクをしていた方が落ち着く」という思いの理由はいくつかあると思われるが、**他者との関わりを少なくすることや、自分の顔を見られることへの抵抗**などの理由がある場合には、友達や社会との関わり方の機会を重視して実施する必要がある。